

<資料> 京山公民館の取組

- 平成 15 年度の主催講座で子どもの視点を重視し、地区内の用水路の環境点検を実施したこと等をきっかけとして、ESD(持続可能な開発のための教育)の取組を行っています。  
平成 15 年度当時小学生だった子どもたちが大人となり、再び ESD の活動に参加する好循環も生まれています。



観音寺用水での環境点検の活動

- 平成 18 年度から公民館が事務局となって、地区内の学校や大学、町内会等の各種団体、個人で組織する「京山地区 ESD 推進協議会」を組織し、京山地区がめざす地域の未来像となる目標を設定し、参加各組織が連携して ESD・持続可能な社会づくりに取り組んでいます。

- 公民館を中心とした約 20 年間にわたる ESD の取組により、環境問題、放課後の子どもの居場所づくり、地域文化の伝承、多文化共生、高齢者や障害者が安心して暮らせるまちづくり、交通問題解決のための事業、防災など広範な地域の活動に発展しています。



京山 SDGs・ESD フェスティバル

- 近年は大人も子どもも集う「みんな食堂」、食品ロス削減、大学生が地元の企業と連携して企画・運営を行い地域住民の健康づくりを推進する「SDGs・健康ウォークラリー」などの新規事業も立ち上がり、地域課題を「自分ごと」として行動する新たなまちづくりの担い手を生み出し、世代間の交流も活発になっています。



つしまみんな食堂



SDGs・健康ウォークラリー